

特定事業(国に取組み状況の報告が必要な事業)

産前産後家庭サポート事業							
妊娠中及び出産後の体調不良等により家事や育児が困難な家庭に対して援助者を派遣し、家事及び育児の一部を行うことにより、出産直後の生活が安定するよう支援します。							
子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
登録世帯数(多胎児)	18世帯	15世帯	19世帯	-	22世帯	-	-
利用日数(多胎児)	155日	213日	57日	-	91日	-	-
登録世帯数(単胎児)	56世帯	100世帯	131世帯	-	123世帯	-	-
利用日数(単胎児)	282日	342日	429日	-	391日	-	-
平成19年度の 自己評価	母子健康手帳交付時や府中市の子育てに関する情報冊子「子育てのたまたま箱」で事業の紹介をしており、その案内を見て申し込む方や、育児相談の際にこの事業を知り申し込む方が多く見られました。また、知人から事業を聞いて申し込む方も増えているため、産前産後家庭サポート事業の周知が広がってきているものと思われます。産前産後家庭サポート申請の理由としては、「周囲にお手伝いをしてくれる人がいない」という理由のほかに、前年度に引き続き「もしもの時に備えて」という理由が多く見られ、登録した方がすべて利用者にはなっておりません。平成19年度の実績では、登録したのに年度内に一度も利用しなかった世帯は、多胎では登録世帯22世帯中9世帯、単胎では登録世帯123世帯中30世帯となっており、アンケートの結果から、利用しなかった理由として、手助けしてもらえ人が身近にいたことや、利用期間が終わってしまったとの意見が多く見られました。利用者アンケートでは、緊急時や産前産後の大変な時期に助けてもらえてとても助かったという意見が多く見られた。一方で、サポートを頼みたい時には利用期間が終わっていたという意見もありました。利用者からの意見を参考に、また子育てにおける産前産後期の重要性などを踏まえて、単胎・多胎共に利用期間延長の見直しを行ない、平成20年度から利用期間の延長等を実施します。						
備考	産後家庭サポート事業と平成18年度から育児家庭訪問事業を実施したことで、国が指定した特定事業の一つである育児支援家庭訪問事業(国事業名)の要件を満たす形となり、平成18年度から国交付金の対象となりました。(国への報告が必要)						

育児家庭訪問事業							
育児不安を抱える家庭(妊娠期を含む)や育児困難な家庭に、家事支援ヘルパーや保健師・助産師などの有資格者が家庭訪問し、児童虐待の発生を予防するとともに、家庭における安定した子どもの育成を見守る体制をつくります。							
子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
対象世帯数	-	-	31世帯	-	67世帯	-	-
派遣日数	-	-	220日	-	844日	-	-
平成19年度の 自己評価	この事業の開始により、継続的な見守りが必要な家庭への支援の幅が広がりました。保育士58回、保健師109回、看護師95回、助産師75回、教員229回、社会福祉士47回、NPO団体231回の訪問派遣を行いました。						
備考	産後家庭サポート事業と平成18年度から育児家庭訪問事業を実施したことで、国が指定した特定事業の一つである育児支援家庭訪問事業(国事業名)の要件を満たす形となり、平成18年度から国交付金の対象となりました。(国への報告が必要)						

ショートステイ

保護者が出産、疾病などの理由で、子どもの養育が一時的に困難な場合に、18歳までの子どもを泊りがけで預かるショートステイを実施します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
施設数(施設)	1か所	1か所	1か所	3か所	3か所	3か所	1か所
定員(人)/日	8人	8人	8人	12人	12人	12人	8人
延べ利用人数	140人	143人	128人	-	392人	-	-
平成19年度の 自己評価	施設が3施設となり、緊急の事例にも対応出来るようになりました。						
備考							

トワイライトステイ

共働きや残業などで保護者の帰宅が恒常的に遅い家庭の子どもを預かるトワイライトステイを拡大します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
施設数(施設)	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所
定員(人/日)	40人	40人	65人	65人	65人	65人	90人
延べ利用人数	6,361人	6,137人	6,172人	-	6,905人	-	-
平成19年度の 自己評価	延長保育の拡大により、トワイライトステイ利用者の減少を予測していましたが、高倉保育所への新1年生登録が多かったため、実績が増加しました。						
備考							

ファミリーサポートセンター

仕事と子育ての両立に向けた環境整備の一環として、市民による会員制の相互育児支援活動の調整業務を行います。また、子ども家庭支援センター「たち」内に会員の活動場所を設けます。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
会員数	742人	974人	1,107人	1,200人	1,194人	1,300人	1,300人
提供会員	158人	182人	199人		233人		
依頼会員	560人	743人	857人		892人		
両方会員	24人	49人	51人		69人		
活動回数	4,720回	4,434回	5,003回	-	6,387回	-	-
平成19年度の 自己評価	これまで3日間だった提供会員講習会を4日間に変更し、内容を充実させました。広報・HP等に講習会の案内を掲載、市役所や文化センターにポスター掲示を行いました。この結果、市民への認知度が高まり提供会員の増加につながりました。						
備考							

病後児保育(乳幼児健康支援一時預かり事業)

新たに病院併設の施設を開設するなど、病気の回復期にある子どもを預かる病後児保育を充実します。また、地域の人々による支援など、家庭への保育者派遣の仕組みを検討します。

子育て支援課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
施設数(施設)	1施設	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
定員(人)	4人	4人	4人	4人	4人	4人	8人
実施時間	17時まで	18時まで	18時まで	18時まで	18時まで	18時まで	18時まで
延べ利用人数	86人	38人	28人	-	13人	-	-
平成19年度の 自己評価	利用登録者に対しアンケートを行い、利用者ニーズを調査しました。						
備考							

延長保育

市立保育所、私立保育園ともに、夕方から夜にかけて保育が必要となる子どもを預かる時間延長保育を拡大します。

保育課	平成16年度 (策定時)	平成17年度 実績	平成18年度 実績	平成19年度		平成20年度 実施目標	平成21年度 目標年度
				実施目標	実績		
施設数(施設)							
19時まで	27か所	27か所	26か所	23か所	23か所	23か所	-
20時まで	2か所	2か所	3か所	6か所	6か所	6か所	31か所
21時まで	-	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
22時まで	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
利用者数(人) / 1日							
19時まで	424人	503人	527人	526人	466人	500人	-
20時まで	12人	14人	19人	28人	22人	25人	-
21時まで	0人	5人	5人	5人	4人	5人	-
22時まで	11人	12人	13人	13人	13人	13人	-
平成19年度の 自己評価	平成19年度より公立保育所3か所において、試行的に午後8時までの延長保育を実施しました。利用実績が伸びていない状況もあり、今後は、利用者アンケートなどを取り、実施施設を検討していきます。また、私立保育園にも協力依頼をしていきます。						
備考	利用者数は、1日あたりの利用者数の平均値です。						